

事務事業評価シート

No.	事務事業名	所管部課
5	老人クラブ等助成事業	健康福祉部 高齢者支援課

事務事業の概要	事業の目的		根拠法令等
	高齢者が、自らの生きがいを高め健康づくりをすすめる各種活動とボランティア活動をはじめとした地域を豊にする各種活動との均衡を図りながら、幅広い社会活動促進のための諸事業を行い、高齢者の社会活動を促進することを目的とする。		<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業の概要		
	■ 補助の概要 補助対象: 毎年度4月1日現在、住民基本台帳に登録されている満60歳以上の者30人以上で構成された老人クラブ 補助額: クラブの会員数に応じた月額(30~49人:19,000円、50~69人:24,000円、70~89人:29,000円、90~109人:34,000円、110人以上:39,000円) 【計算式】…上記の月額×活動月数 + 会員数×100円×活動月数 ※年度末決算後、各クラブ使い切らなかつた補助金額は返還。 ■ 過去の見直し経過 平成29年度に各単位クラブを取りまとめている「西東京市高齢者クラブ連合会」の補助金を都補助基準額を参考に見直しを実施。連合会一律2,000,000円から計算式に基づき1,497,035円(平成29年度補助金額)に見直している。		
事業開始時期	合併以前	実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	28年度 (決算額)	29年度 (決算額)	30年度 (決算見込み額)	令和元年度 (当初予算額)
事業費(A)		17,192	15,106	14,307	15,792
内訳	主要な経費: 老人クラブ運営費補助金	15,188	13,601	12,891	14,256
	その他: 老人クラブ連合会運営費補助金他	2,004	1,505	1,416	1,536
財源	国庫支出金・都支出金	1,457	1,423	1,299	1,267
	地方債				
	その他 ()				
	一般財源	15,735	13,683	13,008	14,525
所要人員(B)	人	0.59	0.59	0.59	0.59
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	4,400	4,521	4,562	4,665
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	21,592	19,627	18,869	20,457
単位当たりコスト (E)=(D)/ (老人クラブ補助金対象者数)	千円	9	8	9	—

指標名	単位	28年度	29年度	30年度	令和元年度
①老人クラブ補助金対象者	実績値 人	2,451	2,335	2,128	/
②西東京市高齢者クラブ連合会会員数	実績値 人	2,216	2,105	1,909	
《指標とした数値変化に対する要因分析など》 クラブ会員の高齢化や転出等の理由から会員数が減少し、30人に満たなくなつてしまった、役員を引き継げる会員がないなどの理由から、存続が難しくなり廃止するクラブがあるため、クラブ数、会員数が減少している。新会員を増やすため、高齢者クラブ連合会としても連合会機関紙「ふれあい」に各クラブの活動場所、活動内容等を掲載するなどしてPR活動に力を入れている。					

事業環境等	他団体のサービス水準との比較 (平均値との比較、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	助成月額には会員数に関係なく定額の市と会員数で月額を決め計算している市がある。多摩26市の補助額を見ても西東京市の補助額は中位である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	—

【一次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の必要性	普通	高齢者の生きがいや健康増進を図るとともに、地域社会を豊かにすることが期待できる。
実施主体の妥当性	適切	各クラブの活動を促進するため、相談や補助金によるサポートが必要と考える。
事業(補助)の対象	課題有	クラブの活動を支援するため、補助金交付要綱の見直しの必要性について検討する。
事業(補助)の内容	適切	補助金の対象となる事業や経費について説明会や個別指導等も実施している。
受益者負担	—	—
事業コスト	普通	多摩26市を見ても西東京市の補助額は中位である。
業務負担	重い	補助金精算事務処理と補助金申請書の審査事務等の業務負担が大きい。
一次評価	評価の判断理由及び現状の課題など	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	全体的に会員の高齢化が進み、活動ができず廃止するクラブが出てきている状況にあり、課題として捉えている。高齢者の生きがいとなる場、健康増進や地域社会につながる場を維持するため、老人クラブ等への補助は引き続き実施する必要があるが、補助金の申請手続きを行う各クラブの役員も高齢化しており、書類審査に係る事務的な負担も多くなってきている。今後、効率的な事業実施に向けて検討が必要と考える。	

【二次評価】

検証項目	判定	判定理由
事業の必要性	普通	老人クラブの活動を支援することで高齢者の生きがいづくりや健康増進等につながる。
実施主体の妥当性	適正	活動支援に向けて、相談や補助金交付による支援は必要と考える。
事業(補助)の対象	課題有	クラブの活動を支援し、維持・存続できるよう、見直しが必要と考える。
事業(補助)の内容	課題有	補助金の仕組みや対象経費などを、分かりやすく伝える必要がある。
受益者負担	—	—
事業コスト	普通	他自治体と比較しても標準的な補助額と考える。
業務負担	重い	書類審査等に多くの時間を費やしており、見直しが必要と考える。
二次評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題、今後改善すべき点等	
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	本事業は、老人クラブ等の運営費の補助事業であり、高齢者の社会活動を促進することを目的としている。補助金の額は、当該クラブの会員数や活動月数を基準に算出しているが、高齢化等に伴い、クラブ役員の担い手や会員が減少し、廃止に至る状況も見受けられるため、本来の補助目的に沿って、補助金交付団体の要件や補助対象事業などを精査し、交付要綱を見直すなど、事務の抜本的な見直しを図る必要がある。	

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止	

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	
---------------	--